



ついに実践!!

オカリーナを手にしてみよう!

オカリーナの種類

オカリーナは吹せる音域によって大きさが異なり、高い音域を出せるものは口径が小さく、低いものは大きくなります。12穴式オカリーナの12種の穴をふさいだ時にピアノの「ド」と同じ音が出るものを「C管」、ピアノと同じ音が出るものを「F管」、ソと同じ音が出るものを「G管」と呼びます。この3種類が基本となり、メーカーによって種類や呼び方が異なりますが、ソプラノ、アルト、バスなどの種類があります。

Q. 最初に手にするオカリーナはどんなものが適しているの?

オカリーナといっても様々なメーカーで楽器が作られています。そこで、初心者の方が簡単にしやすいオカリーナをいくつか紹介しましょう。

ヤマハ オカリーナ YAMAHA OCARINA



手になじみやすく、
初心者にお薦めのF管

■ソプラノF管 (OCR-SP2ET)

「F管」(F音) までの音域で演奏を楽しむことができます。音域はF管になります。サイズはアルトに比べてやや小さく、ソプラノ管は音が少し小さく手になじみやすいという点で、最初に手にするのに最適な楽器です。カラーバリエーションは白、黒、ブルー、レッド、グリーン、イエローの6色展開。
価格: 7,400円 (税込) ソフトケース付

アケタ オカリーナ AKETA OCARINA



吹きやすさ No.1
初心者の方にお薦めしたい
オカリーナ

■F管 コルネターノ (F管)

大変吹きやすい音が特徴。長く手に持っているのも重くなく、演奏もスムーズな物になります。音がなじみやすく、初心者でもスムーズに演奏できます。
価格: 6,400円 (税込) ハッチ、スリーブ付



アンサンブルに適している
アルトC管

■アルトC管 (OCR-ACS1W)

「C管」(C音) までの音域で演奏を楽しむことができます。音域はC管になります。サイズはアルトに比べてやや大きめです。アンサンブルに適しています。カラーバリエーションは白、黒、ブルー、レッド、グリーン、イエローの6色展開。
価格: 8,400円 (税込) ソフトケース付



幅広く支持される
スタンダードタイプ

■F管 コルネターノ (C管)

オカリーナ界の中心である楽器。もちろん初心者にも適していますが、大抵の演奏に十分な楽器で演奏できます。特にソプラノで演奏する際、音域の広さでほかのオカリーナと比べても優れています。
価格: 7,400円 (税込) ハッチ、スリーブ付

購入するときの チェックポイント

1. 楽器を手にしたときに持ちやすいかどうかを手にとって確かめる。
2. 楽器店で購入する場合は、試奏させてもらい、自分の好みの音色かどうか、楽器がほしいかをチェックする。
3. トーンホール (指穴) のサイズが自分の指に合っているかチェックする。

▶ フロントを指さすとまては2穴を付かせません!
裏にのみ2穴を付かせます。



やさしい音色で親しまれる
合奏向きオカリーナ

■SBCツネット (C管)

アケタオカリーナの創始者・阿部氏の愛用楽器でありオカリーナ界でも有名な阿部式12穴式。世界中から多くのオカリーナ愛好者から愛用されています。音色が美しく、演奏がしやすいです。演奏時の音もよく響き、他の楽器と合わせやすいです。
価格: 8,400円 (税込) ハッチ、スリーブ付

▶ このほかにもヤマハニュージレットレーディング (特) では、日本人の音色が特徴で高音がよく通ると評判の創始者一匹 (愛知県瀬戸市の楽匠「一海社」) による伝統オカリーナ「リニエート」も取り扱っています。